

諏訪の 景気動向

2025

11月

(2025年10月末D・I調査)

製造業 p2

輸送用機械以外は改善予想

商業 p4

来店客数減少、客単価上昇

観光・サービス業 p5

宿泊客堅調、クマ対策も

建設業 p6

受注状況やや改善

今月のコラム

サナエノミクスで金利上昇



CONTENTS

概況	1
製造業	2
製造業 受注状況	3
商業	4
観光・サービス業	5
建設業	6
収益性状況	7
雇用状況	8
経営上の課題	8
諏訪地方主要経済指標	8
2025年10月の状況	9
● 自社の業況	9
● 諏訪地方の景況感	9
● 資金繰り	10
● 収益性	10
● 賃金	11
● 米高関税政策の影響	11
回答全社：業況判断DIの推移	12
調査概要	12
コラム「サナエノミクスで金利上昇」	13

お天気マーク（調査月から見た状況）



3ヵ月前（観光・サービス業は前年同期）に比べ、回答全社が10ポイント以上好転したか、3ヵ月前に好転して横ばいの時。



回答全社は好転しているものの、業種によって悪化企業もある時。



3ヵ月前（観光・サービス業は前年同期）に比べ、回答全社が0～9ポイントの好転または悪化か、3ヵ月前も同様で横這いの時。



回答全社が悪化しているものの、業種によって好転企業もある時。



3ヵ月前（観光・サービス業は前年同期）に比べ、回答全社が10ポイント以上悪化したか、3ヵ月前に悪化して横這いの時。

概況

2025年7月アンケート調査および 企業訪問ヒアリング調査による取りまとめ

諏訪地方162社のご協力で行った2025年10月の「景気動向調査 (DI調査)」は、回答全社の「3ヵ月前」と比べた業況判断DIが5.5で、前回調査時(2025年7月末、以下同)の△3.6から、9.1ポイント改善した。「3ヵ月前」と比べた製造業の業況判断DIは5.6で、前回の△7.5から改善した。非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも5.4で、前回の3.6から改善した。「3ヵ月後」の業況予想DIは、製造業が前回の△9.3から6.6へ改善したが、非製造業は1.8で前回の17.9から悪化し、回答全社では4.9(前回0.0)となった。

2025年10月は、日本の政治情勢に大きな変化があり、四半世紀続いた自公政権から公明党が離脱。

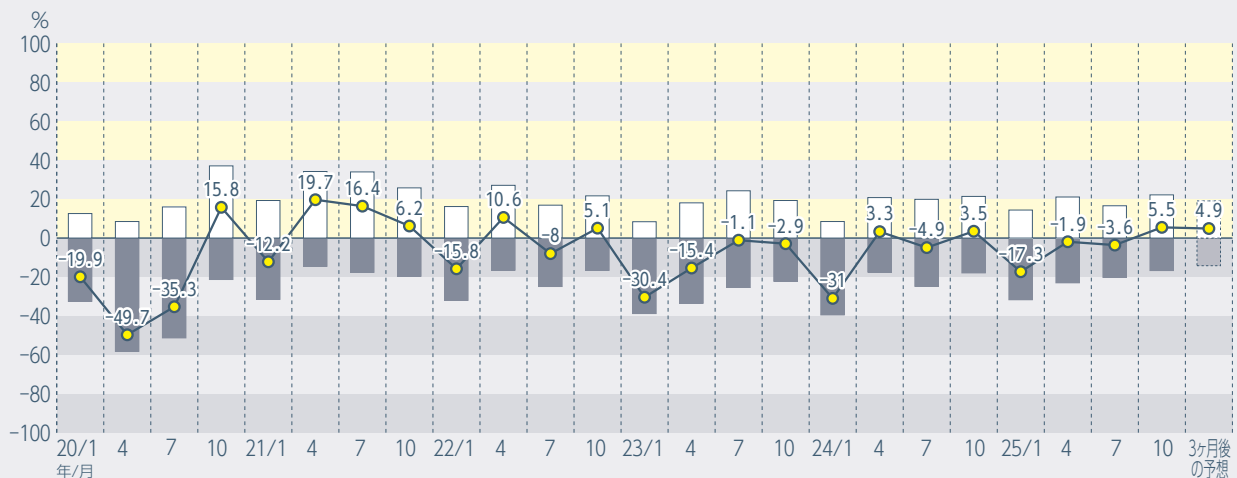
第104代首相に高市早苗氏が指名され、初の女性首相が誕生した。少数与党には、日本維新の会が閣外協力する形で連立内閣が発足した。市場では、新首相の積極的な経済政策姿勢への期待や米中対立の後退などで、株価が急上昇。日経平均が初の5万円台を記録し、月末には5万2000円台まで史上最高値を更新した。

こうした中で、地域企業は一部に米国の高関税政策など海外情勢の影響があるものの、10月時点では大きな混乱はない。ただ、大手企業に起きたサイバー攻撃や全国的なクマへの対策など、新たな課題も出ている。

●産業別業況表

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全 体	162	22.2	61.1	16.7	5.5	162	21.6	53.7	24.7	-3.1	162	19.1	66.7	14.2	4.9
製 造 業	106	24.5	56.6	18.9	5.6	106	25.5	43.4	31.1	-5.6	106	20.8	65.1	14.2	6.6
非 製 造 業	56	17.9	69.6	12.5	5.4	56	14.3	73.2	12.5	1.8	56	16.1	69.6	14.3	1.8
商 業	24	16.7	58.3	25.0	-8.3	24	12.5	70.8	16.7	-4.2	24	25.0	54.2	20.8	4.2
建 設 業	21	19.0	81.0	0.0	19.0	21	9.5	76.2	14.3	-4.8	21	9.5	81.0	9.5	0.0
観光・サービス業	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	27.3	72.7	0.0	27.3	11	9.1	81.8	9.1	0.0

●回答全社：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移





3ヵ月前との比較

「好転」企業は前回の15.9%から24.5%へ増加し、「悪化」企業が23.4%から18.9%へ減少した。関税率が決まり、過度な警戒感は薄れているが、業況は企業によってまちまち。資材やエネルギー、人件費などの総コストは、「上昇」46.2%、「不変」48.1%、「低下」5.7%、でコスト増が続いている。

3ヵ月後の予想

「好転」予想の企業は、前回の10.3%から20.8%へ増加し、「悪化」予想の企業は前回の19.6%から14.2%へ減少した。業種別では、電気機械に悪化予想がなく、前回の4.7から35.0へ改善するなど、多くの業種が前回より改善を予想している。ただ、輸送用機械は△20.0から△40.0と悪化予想が多い。

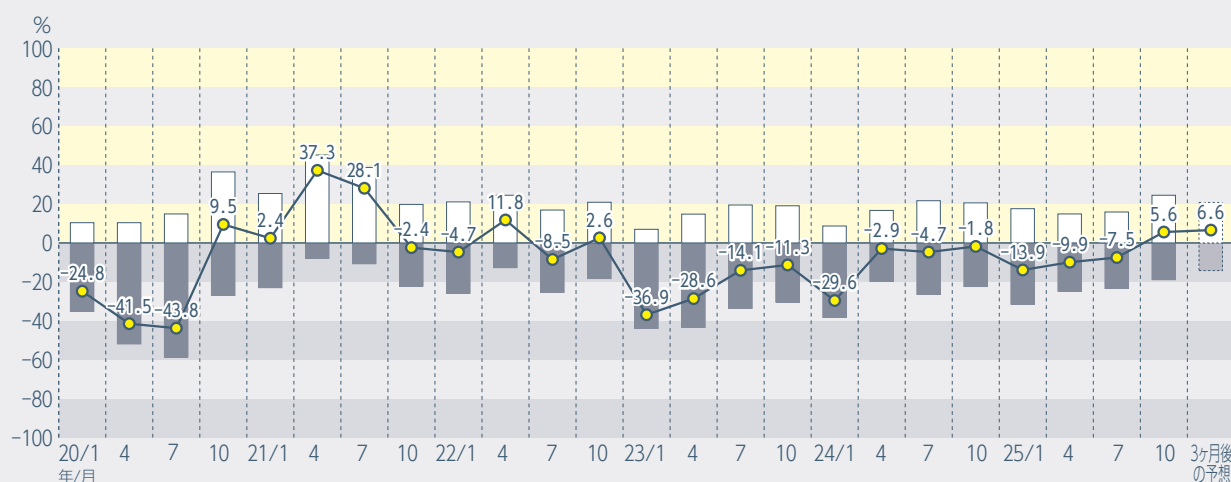
総体的な状況

「米国の高関税政策の影響」は3ヵ月前と比べ「多大」が1.9%、「多少」は51.9%、「なし」は46.2%だった。影響がないとする企業は前回の38.3%から増加し、今のところは大きな混乱はなく、**多くの業種が3ヵ月前より改善**している。3ヵ月後も米国などの動きが気にはなるものの、ほぼ同様な推移が見込まれている。明暗はあるが、半導体関連はデータセンターやAI向けの需要が堅調で、人手不足対策や危険業種対策などに向けた自動化関連の需要も好調に推移している。3ヵ月後の業況予想は、多くの業種が改善傾向の中で、**輸送用機械関連の業況は、回答企業の50%が悪化予想**で前回の20%より上昇し、高関税政策に対する警戒感は払しょくされていない。

企業のひとこと

- 小ロット製作の強みは「人の手」によるものが前提。人材は確保に加えて技術が必要で、人手不足の解消は非常に困難（一般機械製造業）。
- 設備導入について様子を見ていた企業に動きが出て、正式に注文となる案件が増えてきている。来年の計画や問い合わせも多くなっている（一般機械製造業）。
- 受注は好調で、トランプ関税の影響はなく、概ね生産計画通りに進んでいる。先送りとなっている自動車関係製品も年内には動き出し、来年早々には量産となる予定（輸送機械製造業）。
- 国内自動車メーカーは海外販売を強化するため、国内での生産能力を意図的に引き下げている。日産の工場集約化などに伴い、業界内で働く技術者・職人はさらに減っていく見通し（輸送機械製造業）。
- 技術革新は日本のお家芸で経済を支えてきたが、他国に追い付かれて差別化がなくなっている（電気機械製造業）。
- 60歳台の従業員が多く、卓越した技術で現時点では製造工程に問題ないが、若手従業員層がもっと製造業へ目を向けてもらえる活動が必要（精密機械製造業）。
- 経営改善で、ようやく利益確保体質になりつつあるが、大手仕入れ先から大幅な部品値上げ通達があり、頭を痛めている（精密機械製造業）。

●製造業：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移



製造業 受注状況

3ヵ月前との比較

受注状況DIは5.7で、**前回調査時の△6.6から改善**した。規模別DIは、「1～29人企業」は3.6で前回の△8.9から改善した。「30～99人企業」は2.7で前回の0.0から改善した。前回悪化した「100人以上企業」も21.4で前回の△13.4から改善した。業種別（主要5業種）では、「金属製品」が2.9から12.9、「一般機械」は△21.7から△7.7、「精密機械」は△33.4から0.0、「電気機械」は4.8から25.0と改善した。総体的に改善傾向の中で、最も米国の高関税政策の影響が懸念される**「輸送用機械」は△20.0から横ばい**だった。

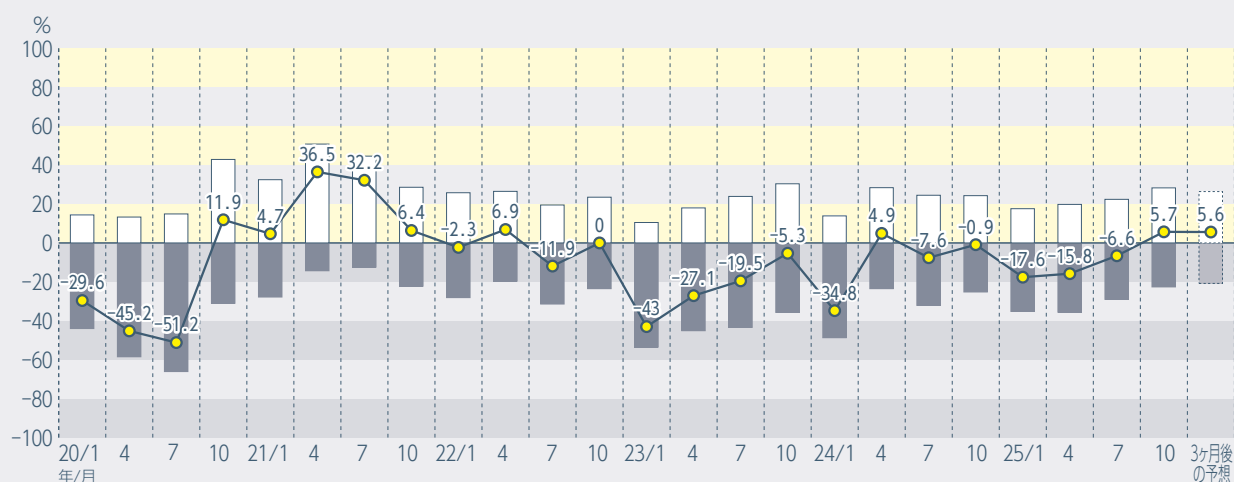
3ヵ月後の予想

製造業全体の受注予想DIは5.6で、**前回の△4.7から改善**した。規模別では「1～29人企業」が3.7で前回の△7.1から改善した。「30～99人企業」は前回の0.0から10.8へ改善し、「100人以上企業」は△6.6から0.0へ改善した。業種別（主要5業種）では、「金属製品」が△2.9から3.2、「電気機械」は4.8から35.0、「一般機械」は△13.0から7.7、「精密機械」は△11.1から22.2へ改善したが、「輸送用機械」は△30.0から△50.0へ悪化幅が広がった。米国の高関税政策の影響予想は、自動車など輸送用機械に強く出ている。

●業種別・規模別受注状況表

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI
製造業		106	28.3	49.1	22.6	5.7	106	30.2	35.8	34.0	-3.8	106	26.4	52.8	20.8	5.6
規模	1～29人	55	29.1	45.5	25.5	3.6	55	29.1	34.5	36.4	-7.3	55	27.3	49.1	23.6	3.7
	30～99人	37	24.3	54.1	21.6	2.7	37	32.4	32.4	35.1	-2.7	37	27.0	56.8	16.2	10.8
	100人～	14	35.7	50.0	14.3	21.4	14	28.6	50.0	21.4	7.2	14	21.4	57.1	21.4	0.0
中分類	金属製品製造業	31	35.5	41.9	22.6	12.9	31	38.7	38.7	22.6	16.1	31	25.8	51.6	22.6	3.2
	一般機械製造業	26	15.4	61.5	23.1	-7.7	26	19.2	42.3	38.5	-19.3	26	23.1	61.5	15.4	7.7
	電気機械器具製造業	20	40.0	45.0	15.0	25.0	20	35.0	30.0	35.0	0.0	20	40.0	55.0	5.0	35.0
	輸送用機械器具製造業	10	20.0	40.0	40.0	-20.0	10	20.0	30.0	50.0	-30.0	10	10.0	30.0	60.0	-50.0
	精密機械器具製造業	9	22.2	55.6	22.2	0.0	9	33.3	33.3	33.3	0.0	9	33.3	55.6	11.1	22.2

●製造業：「3ヵ月前」と比べた受注状況DIの推移





3ヵ月前との比較

業況判断DIは△8.3で、前回の△11.5から改善した。来店客数DIが前回の△15.4から△20.8へ悪化した。客単価DIが前回の7.7から16.7へ上昇した。値上げで収益性DIが△23.1から△8.3へ改善し、資金繰りDIは△15.4から△4.1へ改善した。その中で、大手が受けたサイバー攻撃の影響があった。

3ヵ月後の予想

業況予想DIは、「好転」予想の企業が、「悪化」予想の企業を上回ったが、前回の19.2から4.2へ悪化した。客単価DIが前回の30.8から20.9へ低下し、来店客数DIも19.3から△4.2へ悪化した。前回改善した労働力DIは3.8から△4.1へ再び悪化した。依然、労働力確保が課題となっている。

■スーパー

急激な冷え込みで秋、冬物衣料が動き、鍋物やおでん材料などの売上が伸びた。依然、プライベートブランドや見切り品も好調だった。

■自動車販売

諏訪地方の10月の車庫証明件数は889件で、前年同月比88件、9.0%減少した。

■飲食店

居酒屋メニューの価格上昇で、従来の居酒屋客が食堂に流れ、長居する傾向がある。

■酒類販売

9月下旬に、アサヒGHDがランサム攻撃を受け、受注出荷システムが停止した影響で希望商品が入荷できず、代替品の確保に追われた。

■生花店

新規開店の祝い花のほか、高市政権の誕生で、党関係事務所への生花納品が多かった。

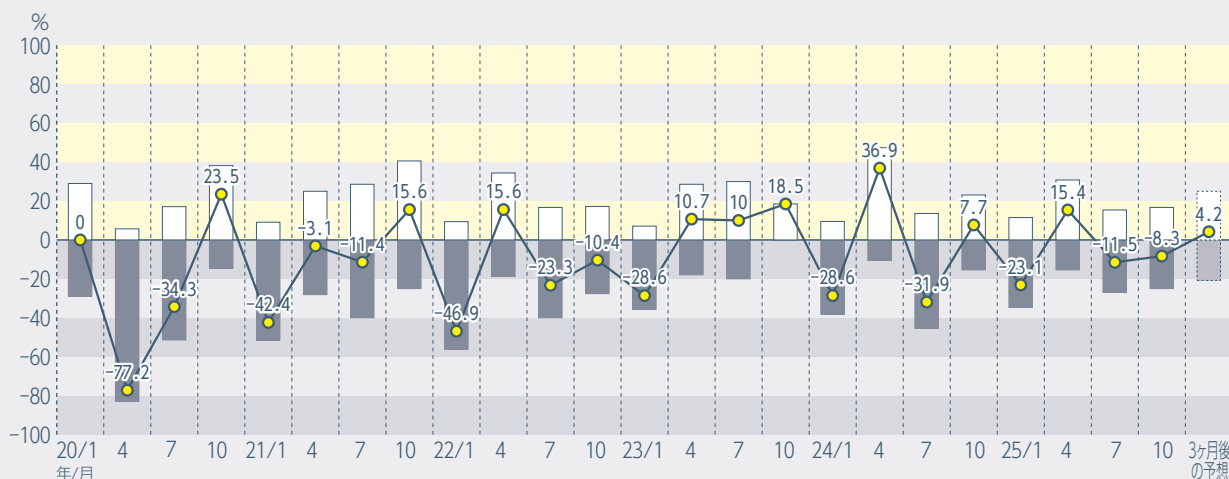
■タイヤ販売

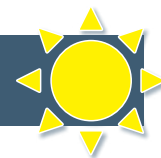
一気に寒くなり、冬タイヤ入替へのマインドが上昇したため、販売数が回復した。

企業のひとこと

- 仕入高の高騰は価格転嫁しているが、人件費や光熱費の高騰分が収益率を下げる要因となっている。従業員の高齢化、離職が課題（スーパー）。
- 土産品は価格上昇しているが、定番の箱菓子以上に、地元食材（生鮮品）や果物などの特産品、地ビールなどが売れている（土産物店）。
- 県内のガソリンスタンドの給油量は減少傾向で、電気自動車への充電可能施設は増加傾向。一般住宅やコインパーキング周辺への設置が目立つ（燃料販売店）。
- 食品などの生活必需品の値上がりが続くと、余暇商材の動きは良化しない（書店）。
- 高齢者は必要がないと安くても買わない。電化製品は高度化、価格上昇し単純タイプが減少。高齢者には使いにくさもある（家電販売店）。

●商業全社：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移





前年同期との比較

業況判断DIが20.0から27.3へ改善した。前回同様、宿泊客数DIは減少がなく、前回の40.0から36.4へやや悪化したものの、**高水準で推移**した。今秋は紅葉のピークが遅れ、観光客の来訪が分散した。また、全国同様、諏訪地方でもクマの目撃があり、対策を取る動きがあった。

3ヵ月後の予想

業況予想DIは、ウインターシーズンに向かい、**前回の30.0から0.0へ悪化**した。原材料やエネルギー、人件費などの総コストの上昇を予想する企業が54.5%ある一方で、パートを含む労働力予想DIは前回の0.0から△18.2に悪化。資金繰りDIが前回の20.0から△36.4へ悪化した。

■ 上諏訪温泉

諏訪湖温泉旅館組合加盟14施設中、8施設が前年同月比プラスだった。10月の客室稼働率は88.2%（前年同）。新作花火大会決勝や諏訪湖マラソンなどイベントも多く、関東圏からの予約が増加した。平日の集客も好調だった。諏訪湖スマートIC開通による影響はまだ少ない。

■ 下諏訪温泉

好調な観光需要に支えられ、前年比で売上は増加している。インバウンドはやや減少した。

■ 蓼科・白樺湖・富士見高原

週末の雨で客足が鈍り、クマの出没に関する数件の問い合わせがあった観光施設もあり伸び悩んだ。スキーシーズンは、長野道岡谷JCT工場の影響で白馬方面への足が遠のくことが予想され、当地への入り込みが期待されている。

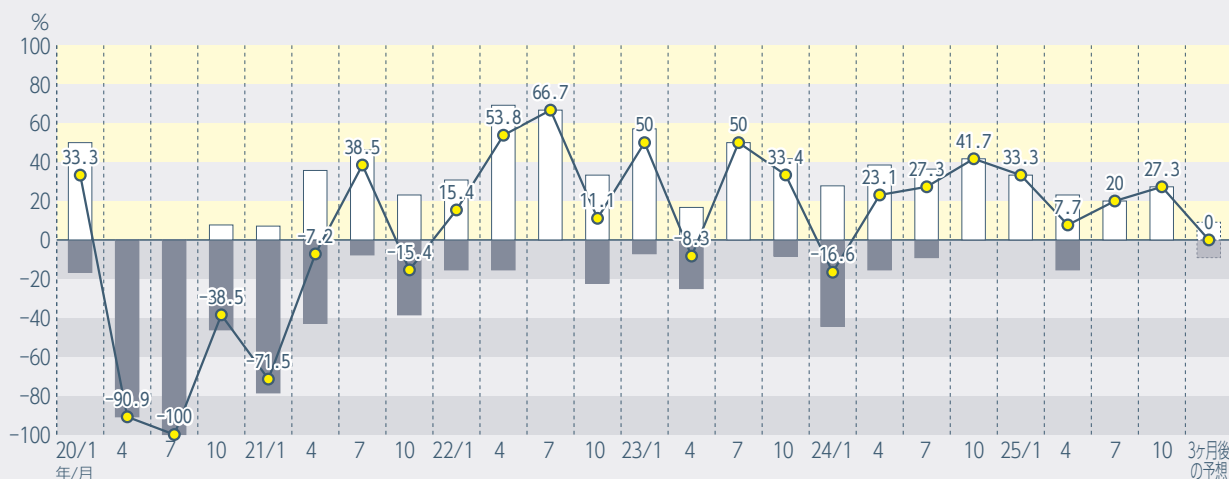
■ 諏訪大社

上社・下社合わせた10月の参拝者数は、約98,000人だった。前年同月比約2,500人、2.7%増加した。団体バスでの観光が徐々に増加しているが、個人の小規模な旅行者も多い。

企業のひとこと

- 近隣の山でクマの目撃情報が増えてきたが、ハイキングコースでの目撃は今のところない。スキー場ではごみ箱の撤去、クマ鈴、ヘルメットの貸与、クマ出没マップ確認などの対策を講じている（観光施設）。
- 全国でサイバー攻撃があり、セキュリティ対策強化が必要。同時に従業員の意識も変えたい（ホテル）。
- 団体旅行がコンパクトになってきている一方で、旅行の本数自体は増加しているため、各社ともに添乗員の確保、観光バスの手配に苦慮している（旅行代理店）。

● 観光・サービス業全社：「前年同期」と比した業況判断DIの推移





3ヵ月前との比較

業況判断DIは19.0で、前回の10.0から改善幅が伸びた。受注状況DIが、前回の15.0から19.1へ改善した。ただ、総コストは減少した企業がなく、38.1%が上昇している。外注発注量DIは前回の10.0から4.7へ悪化した。公共工事は低調だが、民間工事で首都圏からの移住希望者などにニーズがある。

3ヵ月後の予想

業況判断予想DIは81%が「横ばい」だが、「好転」、「悪化」とも9.5%の0.0で、前回の10.0から悪化した。受注予想DIは前回の5.0から△4.7に悪化している。総コストが減少するとみる企業はなく、47.6%が今後も上昇すると予想している。資材価格の上昇に伴い、建築単価が上昇している。

9月の新設住宅着工戸数

諏訪地方の合計は56戸で、前年同月比14戸減少(△20.0%)した。持家は1戸減少の48戸、貸家は14戸減少の6戸、分譲は2戸増加の2戸だった。2025年4月～9月の累計着工戸数は559戸で、前年同期比45戸減少(△7.4%)した。長野県全体は883戸で、前年同月比2.4%減少した。

10月の諏訪地方市町村からの受注状況

建築工事2件150百万円、土木・水道工事65件694百万円、その他工事15件418百万円の合計82

件1,263百万円だった。前年同月比で、件数は4件、契約金額は509百万円増加(67.5%)した。

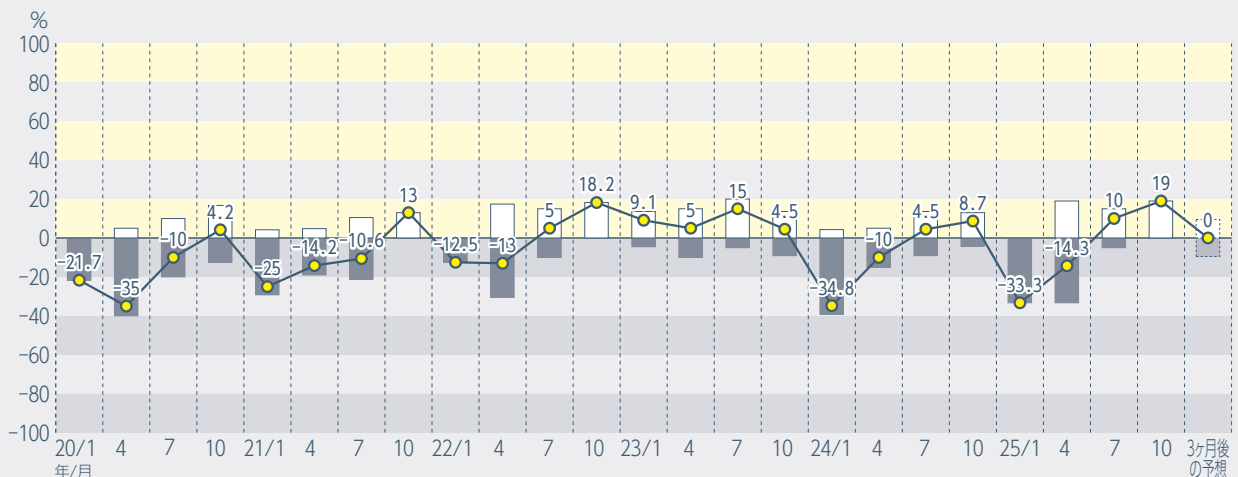
10月の地元企業が受注した国県関係の公共工事

合計6件526百万円で、前年同月比で件数は16件減少し、契約金額は316百万円減少(△37.5%)した。2025年4月～10月の累計は59件3,455百万円で、前年同期比で件数は15件減少し、契約金額は2,356百万円減少(△40.5%)した。大型の建設工事の減少が続いている。

企業のひとこと

- 公共工事受注は今年度、減少が続いている。特に箱物工事は大幅減少となっている印象。フレックス工期入札制度を上手く利用し、工事の分散化を行っている業者も少なくない。
- 住宅、別荘、リフォーム工事で受注は十分に確保できている。
- 設備投資等の需要はまだまだ少なく、今年度は公共工事も少ないことから手持ち案件が増えない。今後も大きく計画を上回することは期待できない。
- 計画はあるものの様子を見ている感じであり、先送りになっている案件が多い。地区内土木関連は厳しい取引先が多いように感じる。
- 軽減税率で燃料代が下がればありがたい。

建設業全社：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移



収益性状況

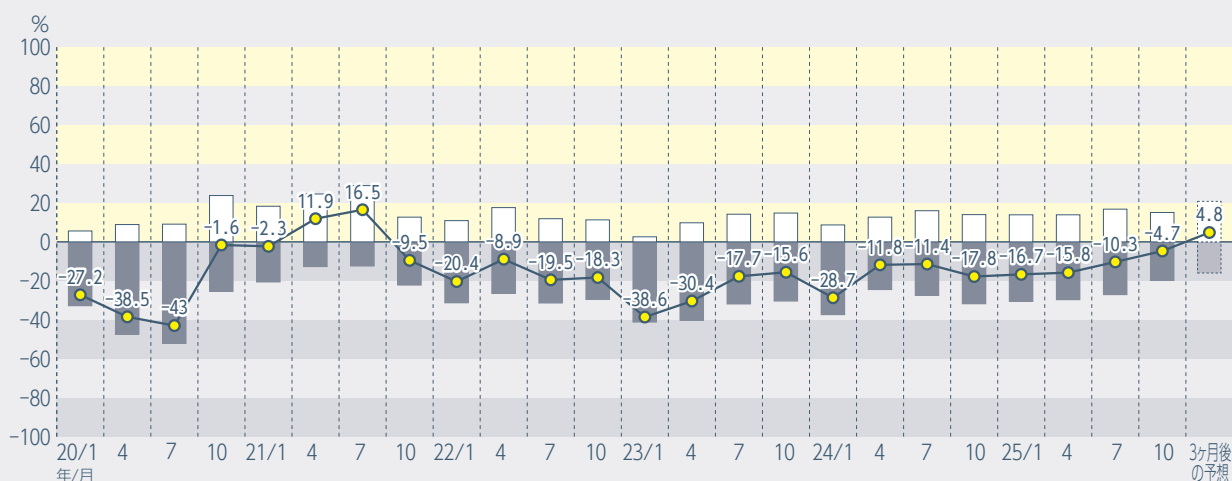
3ヵ月前との比較

回答全社の収益性判断DIは「好転」14.2%、「悪化」20.4%の△6.2で、前回調査時の△9.8から**やや改善**した。製造業は△4.7で、前回の△10.3から改善した。非製造業は「好転」12.5%、「悪化」21.4%の△8.9で、前回の△9.0とほぼ同様だった。商業、建設業、観光・サービス業ともマイナス水準だった。多くの企業で、原材料やエネルギー高、賃金上昇など収益を圧迫する要因が継続している。

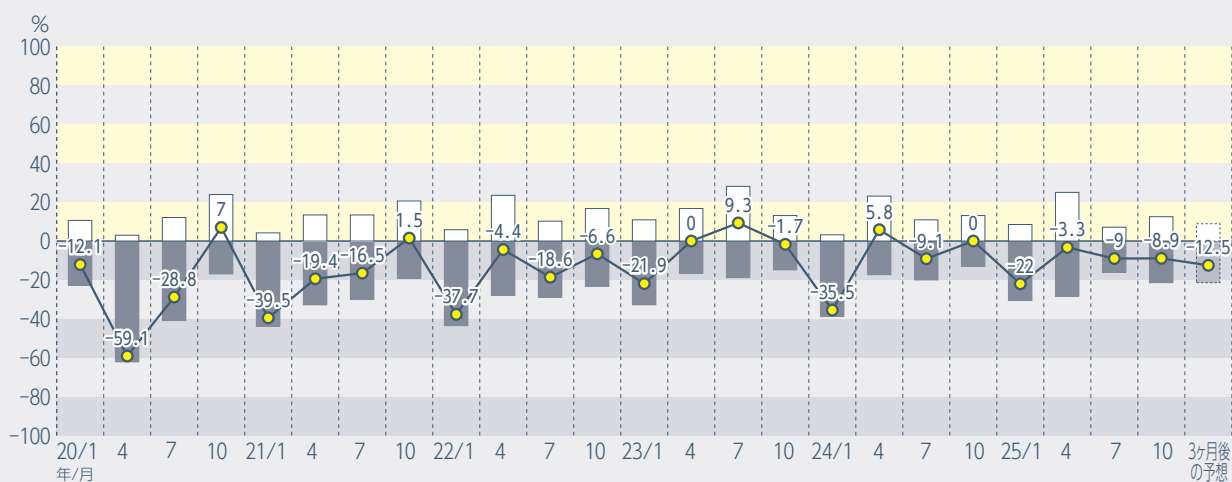
3ヵ月後の予想

回答全社の収益性予想DIは「好転」16.7%、「悪化」17.9%の△1.2で、**前回の3.0から悪化**した。製造業は4.8で、前回の△0.9から改善した。一方、非製造業は△12.5で前回の10.7から悪化した。前回は全体を押し上げた観光・サービス業が50.0から△27.3へ大幅悪化した。冬季シーズンに向かい、盛況だった今年の夏季に比べ旅客が減少する中で、燃料価格の高騰などが懸念される。

●製造業：3ヵ月前と比べた収益性DI



●非製造業：3ヵ月前と比べた収益性DI



雇用状況

2025年9月の諏訪地方の有効求人倍率は、前年同月を0.14ポイント下回り、前月を0.02ポイント下回る1.24倍だった。33ヵ月連続で前年同月を下回った。有効求人数が29ヵ月連続して前年同月を下回っている。県内は前月比0.02ポイント上昇の1.26倍で、「宿泊業・飲食サービス業」がインバウンド需要で17ヵ月ぶりに増加した一方、「製造業」は米国の相互関税の懸念から求人を手控える動きがあり、2ヵ月連続で減少した。全国の有効求人倍率は、前月から横ばいの1.20倍で、完全失業率も前

月と同じ2.6%だった。

諏訪地方は、新規求人数が1,339人で、前年同月比15人増加(1.1%)した。新規求職者数は681人で、前年同月比7人増加(1.0%)した。産業別の前年同月比の新規求人数は、フランチャイズの飲食店で大量の求人があった「宿泊業・飲食サービス業」266.7%、「運輸業・郵便業」11.1%が増加し、「製造業」△11.5%、「建設業」△16.7%が減少した。1件10人以上の人員整理はなかった。

経営上の課題 (3つまでの複数回答)

経営上の課題として①製造業は労働力確保と人件費②商業は労働力確保と人件費③建設業は労働力確保と人件費④観光・サービス業は人件費と労働

力確保だった。どの業種もコストが増加する中での人手不足への対応が課題となっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	67	51	9	5	2
単価引下げ	13	11	1	0	1
競争激化	33	18	9	5	1
資金繰り	36	20	6	7	3
人件費	72	40	11	11	10
労働力確保	90	56	11	17	6

諏訪地方主要経済指標

	実数	前年同期比
有効求人倍率【9月】ハローワーク諏訪管内	1.24倍	△0.14ポイント
国県公共工事【10月】 (税抜・地元企業受注分)	件数	△16件
	金額	△3,160百万円
6市町村公共工事受注【10月】 (税抜・業務委託除く)	件数	4件
	金額	509百万円
車庫証明件数【10月】(諏訪地方合計)	889件	△9.0%
新設住宅着工件数【2025年4月～9月(諏訪管内)】	559戸	△7.4%

2025年10月の状況 (企業%) ●自社の業況 ●諏訪地方の景況感

●自社の業況

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI
全	体	162	22.2	61.1	16.7	5.5	162	21.6	53.7	24.7	-3.1	162	19.1	66.7	14.2	4.9
製	造	106	24.5	56.6	18.9	5.6	106	25.5	43.4	31.1	-5.6	106	20.8	65.1	14.2	6.6
規	1~29人	55	23.6	56.4	20.0	3.6	55	25.5	40.0	34.5	-9.0	55	20.0	65.5	14.5	5.5
	30~99人	37	24.3	56.8	18.9	5.4	37	21.6	43.2	35.1	-13.5	37	24.3	62.2	13.5	10.8
	100人~	14	28.6	57.1	14.3	14.3	14	35.7	57.1	7.1	28.6	14	14.3	71.4	14.3	0.0
中	金属製品 製造業	31	29.0	51.6	19.4	9.6	31	25.8	54.8	19.4	6.4	31	19.4	67.7	12.9	6.5
	一般機械 製造業	26	19.2	61.5	19.2	0.0	26	19.2	30.8	50.0	-30.8	26	23.1	65.4	11.5	11.6
	電気機械器具 製造業	20	35.0	55.0	10.0	25.0	20	30.0	45.0	25.0	5.0	20	35.0	65.0	0.0	35.0
	輸送用機械 器具製造業	10	20.0	50.0	30.0	-10.0	10	40.0	20.0	40.0	0.0	10	10.0	40.0	50.0	-40.0
	精密機械器具 製造業	9	22.2	66.7	11.1	11.1	9	33.3	44.4	22.2	11.1	9	11.1	77.8	11.1	0.0
非	製	56	17.9	69.6	12.5	5.4	56	14.3	73.2	12.5	1.8	56	16.1	69.6	14.3	1.8
商	業	24	16.7	58.3	25.0	-8.3	24	12.5	70.8	16.7	-4.2	24	25.0	54.2	20.8	4.2
建	設	21	19.0	81.0	0.0	19.0	21	9.5	76.2	14.3	-4.8	21	9.5	81.0	9.5	0.0
観	光・サー	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	27.3	72.7	0.0	27.3	11	9.1	81.8	9.1	0.0

●諏訪地方の景況感

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答 企業数	上昇	不変	低下	DI	回答 企業数	上昇	不変	低下	DI	回答 企業数	上昇	不変	低下	DI
全	体	162	3.1	62.3	34.6	-31.5	162	7.4	42.0	50.6	-43.2	161	6.2	65.2	28.6	-22.4
製	造	106	1.9	57.5	40.6	-38.7	106	4.7	36.8	58.5	-53.8	105	7.6	64.8	27.6	-20.0
規	1~29人	55	3.6	49.1	47.3	-43.7	55	7.3	27.3	65.5	-58.2	54	13.0	50.0	37.0	-24.0
	30~99人	37	0.0	56.8	43.2	-43.2	37	2.7	40.5	56.8	-54.1	37	2.7	78.4	18.9	-16.2
	100人~	14	0.0	92.9	7.1	-7.1	14	0.0	64.3	35.7	-35.7	14	0.0	85.7	14.3	-14.3
中	金属製品 製造業	31	0.0	51.6	48.4	-48.4	31	3.2	35.5	61.3	-58.1	31	12.9	61.3	25.8	-12.9
	一般機械 製造業	26	0.0	53.8	46.2	-46.2	26	0.0	30.8	69.2	-69.2	26	3.8	53.8	42.3	-38.5
	電気機械器具 製造業	20	10.0	55.0	35.0	-25.0	20	10.0	40.0	50.0	-40.0	20	15.0	70.0	15.0	0.0
	輸送用機械 器具製造業	10	0.0	80.0	20.0	-20.0	10	10.0	40.0	50.0	-40.0	10	0.0	50.0	50.0	-50.0
	精密機械器具 製造業	9	0.0	66.7	33.3	-33.3	9	0.0	44.4	55.6	-55.6	9	0.0	88.9	11.1	-11.1
非	製	56	5.4	71.4	23.2	-17.8	56	12.5	51.8	35.7	-23.2	56	3.6	66.1	30.4	-26.8
商	業	24	4.2	50.0	45.8	-41.6	24	8.3	37.5	54.2	-45.9	24	4.2	58.3	37.5	-33.3
建	設	21	0.0	95.2	4.8	-4.8	21	4.8	71.4	23.8	-19.0	21	0.0	85.7	14.3	-14.3
観	光・サー	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	36.4	45.5	18.2	18.2	11	9.1	45.5	45.5	-36.4

2025年10月の状況 (企業%) ●資金繰り ●収益性

●資金繰り

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI
全	体	162	9.9	76.5	13.6	-3.7	162	9.3	71.6	19.1	-9.8	162	6.8	77.8	15.4	-8.6
製	造	106	9.4	78.3	12.3	-2.9	106	12.3	70.8	17.0	-4.7	106	8.5	78.3	13.2	-4.7
規	1~29人	55	9.1	70.9	20.0	-10.9	55	7.3	65.5	27.3	-20.0	55	9.1	70.9	20.0	-10.9
	30~99人	37	10.8	86.5	2.7	8.1	37	18.9	78.4	2.7	16.2	37	5.4	89.2	5.4	0.0
	100人~	14	7.1	85.7	7.1	0.0	14	14.3	71.4	14.3	0.0	14	14.3	78.6	7.1	7.2
中	金属製品 製造業	31	9.7	77.4	12.9	-3.2	31	6.5	83.9	9.7	-3.2	31	9.7	80.6	9.7	0.0
	一般機械 製造業	26	7.7	80.8	11.5	-3.8	26	11.5	73.1	15.4	-3.9	26	0.0	88.5	11.5	-11.5
	電気機械器具 製造業	20	10.0	85.0	5.0	5.0	20	20.0	75.0	5.0	15.0	20	10.0	90.0	0.0	10.0
	輸送用機械 器具製造業	10	10.0	50.0	40.0	-30.0	10	10.0	40.0	50.0	-40.0	10	10.0	50.0	40.0	-30.0
	精密機械器具 製造業	9	0.0	88.9	11.1	-11.1	9	22.2	66.7	11.1	11.1	9	22.2	55.6	22.2	0.0
非	製	56	10.7	73.2	16.1	-5.4	56	3.6	73.2	23.2	-19.6	56	3.6	76.8	19.6	-16.0
商	業	24	16.7	62.5	20.8	-4.1	24	0.0	75.0	25.0	-25.0	24	8.3	79.2	12.5	-4.2
建	設	21	4.8	85.7	9.5	-4.7	21	4.8	71.4	23.8	-19.0	21	0.0	81.0	19.0	-19.0
観	光・サービス業	11	9.1	72.7	18.2	-9.1	11	9.1	72.7	18.2	-9.1	11	0.0	63.6	36.4	-36.4

●収益性

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI
全	体	162	14.2	65.4	20.4	-6.2	162	16.7	49.4	34.0	-17.3	162	16.7	65.4	17.9	-1.2
製	造	106	15.1	65.1	19.8	-4.7	106	18.9	50.0	31.1	-12.2	106	20.8	63.2	16.0	4.8
規	1~29人	55	12.7	63.6	23.6	-10.9	55	12.7	47.3	40.0	-27.3	55	18.2	60.0	21.8	-3.6
	30~99人	37	16.2	67.6	16.2	0.0	37	21.6	54.1	24.3	-2.7	37	24.3	67.6	8.1	16.2
	100人~	14	21.4	64.3	14.3	7.1	14	35.7	50.0	14.3	21.4	14	21.4	64.3	14.3	7.1
中	金属製品 製造業	31	16.1	54.8	29.0	-12.9	31	16.1	58.1	25.8	-9.7	31	19.4	64.5	16.1	3.3
	一般機械 製造業	26	11.5	73.1	15.4	-3.9	26	15.4	50.0	34.6	-19.2	26	19.2	73.1	7.7	11.5
	電気機械器具 製造業	20	20.0	70.0	10.0	10.0	20	25.0	55.0	20.0	5.0	20	35.0	60.0	5.0	30.0
	輸送用機械 器具製造業	10	20.0	40.0	40.0	-20.0	10	20.0	20.0	60.0	-40.0	10	10.0	40.0	50.0	-40.0
	精密機械器具 製造業	9	11.1	77.8	11.1	0.0	9	22.2	55.6	22.2	0.0	9	11.1	66.7	22.2	-11.1
非	製	56	12.5	66.1	21.4	-8.9	56	12.5	48.2	39.3	-26.8	56	8.9	69.6	21.4	-12.5
商	業	24	16.7	58.3	25.0	-8.3	24	8.3	45.8	45.8	-37.5	24	12.5	70.8	16.7	-4.2
建	設	21	9.5	71.4	19.0	-9.5	21	14.3	47.6	38.1	-23.8	21	4.8	76.2	19.0	-14.2
観	光・サービス業	11	9.1	72.7	18.2	-9.1	11	18.2	54.5	27.3	-9.1	11	9.1	54.5	36.4	-27.3

2025年10月の状況 (企業%) ●総コスト ●米高関税政策の影響

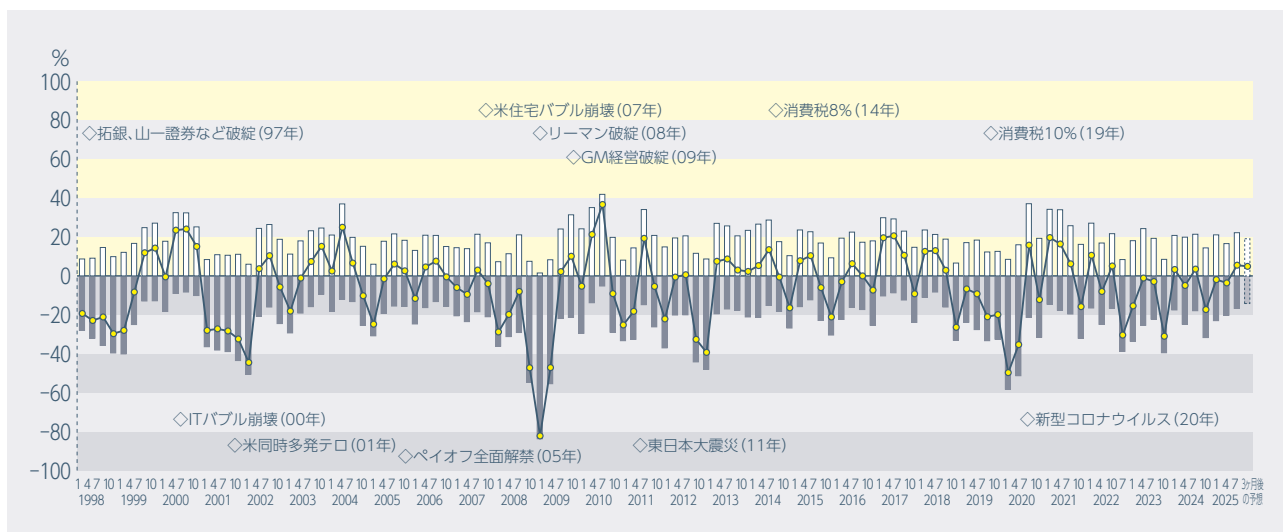
●総コスト

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答 企業数	増加	不変	減少	DI	回答 企業数	増加	不変	減少	DI	回答 企業数	増加	不変	減少	DI
全	体	162	47.5	47.5	4.9	42.6	162	59.3	35.2	5.6	53.7	162	46.9	49.4	3.7	43.2
製	造	106	46.2	48.1	5.7	40.5	106	58.5	36.8	4.7	53.8	106	43.4	53.8	2.8	40.6
規	1~29人	55	50.9	40.0	9.1	41.8	55	61.8	29.1	9.1	52.7	55	56.4	40.0	3.6	52.8
	30~99人	37	37.8	59.5	2.7	35.1	37	48.6	51.4	0.0	48.6	37	27.0	70.3	2.7	24.3
	100人~	14	50.0	50.0	0.0	50.0	14	71.4	28.6	0.0	71.4	14	35.7	64.3	0.0	35.7
中	金属製品 製造業	31	38.7	58.1	3.2	35.5	31	64.5	35.5	0.0	64.5	31	38.7	58.1	3.2	35.5
	一般機械 製造業	26	46.2	42.3	11.5	34.7	26	42.3	42.3	15.4	26.9	26	34.6	57.7	7.7	26.9
	電気機械器具 製造業	20	65.0	35.0	0.0	65.0	20	65.0	35.0	0.0	65.0	20	50.0	50.0	0.0	50.0
	輸送用機械 器具製造業	10	50.0	50.0	0.0	50.0	10	60.0	40.0	0.0	60.0	10	30.0	70.0	0.0	30.0
	精密機械器具 製造業	9	55.6	33.3	11.1	44.5	9	66.7	22.2	11.1	55.6	9	66.7	33.3	0.0	66.7
非	製	56	50.0	46.4	3.6	46.4	56	60.7	32.1	7.1	53.6	56	53.6	41.1	5.4	48.2
商	業	24	58.3	37.5	4.2	54.1	24	58.3	33.3	8.3	50.0	24	58.3	37.5	4.2	54.1
建	設	21	38.1	61.9	0.0	38.1	21	61.9	33.3	4.8	57.1	21	47.6	52.4	0.0	47.6
観	光・サービス業	11	54.5	36.4	9.1	45.4	11	63.6	27.3	9.1	54.5	11	54.5	27.3	18.2	36.3

●米高関税政策の影響

		3ヵ月前と比べて				前年同期と比べて				3ヵ月後の予想			
		回答 企業数	多大	多少	なし	回答 企業数	多大	多少	なし	回答 企業数	多大	多少	なし
全	体	162	1.2	50.0	48.8	162	5.6	50.0	44.4	162	3.1	58.0	38.9
製	造	106	1.9	51.9	46.2	106	7.5	50.9	41.5	106	3.8	60.4	35.8
規	1~29人	55	1.8	54.5	43.6	55	9.1	49.1	41.8	55	3.6	58.2	38.2
	30~99人	37	2.7	51.4	45.9	37	8.1	54.1	37.8	37	2.7	67.6	29.7
	100人~	14	0.0	42.9	57.1	14	0.0	50.0	50.0	14	7.1	50.0	42.9
中	金属製品 製造業	31	0.0	38.7	61.3	31	0.0	41.9	58.1	31	0.0	51.6	48.4
	一般機械 製造業	26	7.7	53.8	38.5	26	19.2	50.0	30.8	26	7.7	61.5	30.8
	電気機械器具 製造業	20	0.0	65.0	35.0	20	10.0	65.0	25.0	20	5.0	75.0	20.0
	輸送用機械 器具製造業	10	0.0	70.0	30.0	10	0.0	70.0	30.0	10	10.0	60.0	30.0
	精密機械器具 製造業	9	0.0	77.8	22.2	9	11.1	66.7	22.2	9	0.0	77.8	22.2
非	製	56	0.0	46.4	53.6	56	1.8	48.2	50.0	56	1.8	53.6	44.6
商	業	24	0.0	45.8	54.2	24	4.2	41.7	54.2	24	4.2	50.0	45.8
建	設	21	0.0	42.9	57.1	21	0.0	52.4	47.6	21	0.0	57.1	42.9
観	光・サービス業	11	0.0	54.5	45.5	11	0.0	54.5	45.5	11	0.0	54.5	45.5

回答全社：業況判断DIの推移 (当金庫の調査開始から)



調査概要

DI調査:業況などが「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ①調査期間 2025年10月。
- ②調査内容 「2025年10月時点」の実績と、「3ヵ月前」と「前年同期」の業績比較および「3ヵ月後」の予想。
- ③調査方法 DI調査および約130社のヒアリング調査。
- ④DI回答数 162企業。
- ⑤回答率 64.8%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	160	40	30	20	250
回答数	106	24	21	11	162

サナエノミクスで 金利上昇

株式会社小宮コンサルタンツ CEO
小宮 一慶氏



外交日程を無難に乗り切り、支持率も高い高市早苗首相ですが、その経済政策には、結構危ないものがあります。それは、長期金利が今後急上昇する可能性があることです。「責任ある積極財政」を標榜していますが、さじ加減を間違うと、とんでもないことが起こる可能性があります。

高市早苗氏が首相に就任してから、不気味なことが起こっています。長期金利の上昇です。自民党総裁に選出された直後に、10年国債利回りが1.7%をつけ、その後、この原稿を書いている時点では1.68%程度で推移していますが、長期金利が上昇したのです。そして今後も上昇する懸念が小さくありません。

図にあるように、今年1月には1.2%台だった10年国債の利回りが、このところ大幅に上昇しています。アベノミクスの時期には、「イールド・カーブ・コントロール」の名のもとに、長期金利の抑制を行い、マイナスから0%台で推移していました。現状は、日銀は長期金利のコントロールを行っていません。自由金利です。

	新発10年 国債利回り (期末)	輸入物価 (前年比)
2025年1月	1.245	2.1
2月	1.370	-1.2
3月	1.485	-2.5
4月	1.310	-7.3
5月	1.500	-10.3
6月	1.420	-12.0
7月	1.545	-10.3
8月	1.600	-3.9
9月	1.645	-0.8
10月	1.655	
(出所)	日本相互証券	日銀

(%)

この10年国債の利回りが、企業への長期での貸出しや固定金利の住宅ローンのベースとなり、この金利が上がると、長期貸し出しや固定の住宅ローン金利が上がることとなります。また、長期金利の上昇は、銀行などが大量に保有する国債の時価を大きく下げることにもなりかねません。

高市早苗首相は「責任ある積極財政」を唱えています。積極財政は、それだけでなく国債発行額が多いわが国では高い確率で長期金利の上昇をもたらします。

先にも説明したように、アベノミクスの頃には、10年国債利回りはほぼゼロでしたから、企業も借入金利をかなり低く抑えられたのです。先日も、ある社長と話していたら、「最近、長期の借り換えをおこなったら、金利が倍になった」と言っていました。

そして、今後も長期金利の上昇が予想されます。

なぜなら、先日トランプ大統領が訪日した際には、高市首相は防衛費の対GDP比2%の年内実施を約束しま

した。ガソリンの暫定税率の年度内廃止も決定しています。いずれも、財政の拡大や税収の減少をもたらしますが、その穴埋めの多くは国債で賄われることとなるでしょう。そうすれば長期金利は上昇せざるをえません。

さらに、短期金利も上昇が予想されます。

現状の政策金利（コールレート翌日物；銀行間で1日だけ貸し借りする市場の金利）は上限が0.5%で日銀により誘導されていますが、現状の3%程度のインフレ率を考えるとこちらも早急に引き上げる必要があります。政策金利が上がると、短期金利が上昇します。

事実、10月の日銀の政策決定会合でも、その前の9月に続き、9名の政策審議委員のうち2名が利上げを主張し現状維持に反対したと報道されています。日銀内では政策金利上昇を主張する声が増しに高まっていると感じます。

高市政権が本来やるべきことは、インフレ対策ですが、残念ながらインフレを助長する政策を行おうとしています。選挙対策もあると思いますが、「責任ある積極財政」のもと、「バラマキ」色の強い政策を行おうとしています。抑制的ではありません。これでは、インフレは収まりません。

また、高市内閣になり、6円ほど円安が進みましたが、これは輸入物価を押し上げます。表にあるように、今年に入り、輸入物価はマイナスが続いていましたが、円安のためにおそらく10月からは前年比プラスに転じると考えられます。もちろん、輸入物価の上昇はインフレを助長します。

今でも、ホテルや飲食業の一部は、十分な人手を確保できず収益の伸び悩みに直面しています。中には、廃業、倒産しているところもあります。

それに続いて、金利上昇が起これば、景気は一気に冷え込みます。人手不足は、それである程度解消するかもしれませんが、それでは本末転倒です。

高市政権は、先に見たような政策をとるため、いずれにしても財政支出、それも赤字国債の増発は避けられません。「プライマリーバランス（基礎的財政収支：国債費を除いた収支）の黒字化目標もトーンダウンしました。

いずれにしても、積極財政を推し進めるつもりです。「責任ある」と言っていますが、本当に金融市場まで目配せしているかは不明です。長期金利の動きからは目が離せません。

諏訪信用金庫アプリ ダウンロードはこちら→
スマートフォンから簡単に**新規口座開設**や**残高照会**、**入出金明細の確認**などができます。登録は無料です。



長野県岡谷市郷田二丁目1番8号
TEL 0266-23-4572
FAX 0266-24-4055



ホームページ



Instagram

「諏訪の景気動向」についてのご意見、ご要望は
諏訪信用金庫 総務部へ
TEL 0266-23-4567